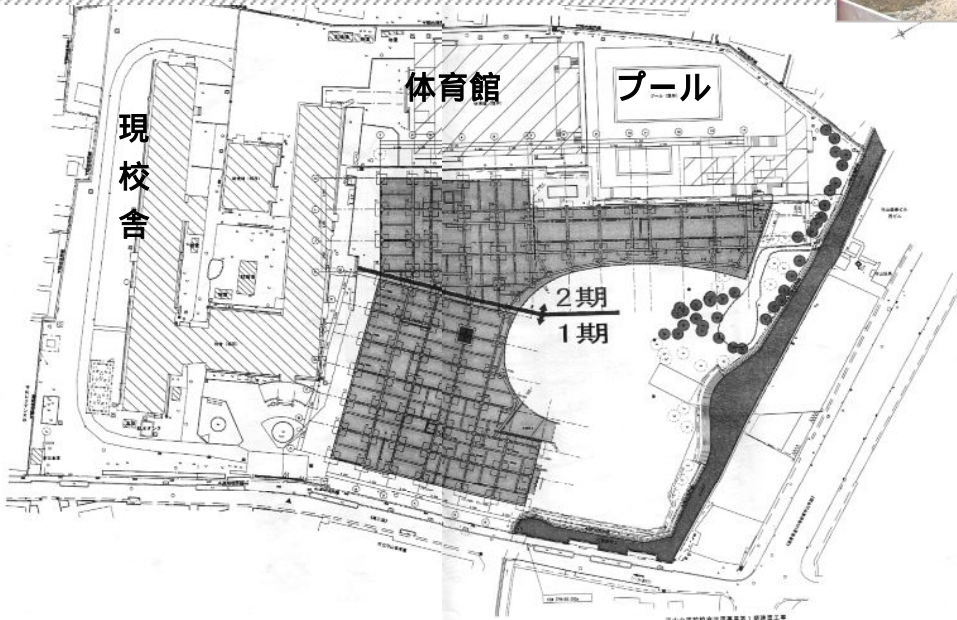


守山小・幼稚園合築第一期工事

地盤補強工事進む



守山小学校と幼稚園の合築施設で新たに問題になっている地盤補強工事が始まっています。10日には二期工事の契約変更議案も議論されます。



当初、示されている工事日程

H22.4	7月	10月	H23.3	6月	8月	10月	11月	H24.3
校舎第一期工事					新校舎引越し			
校舎第二期工事								
	河川移設工事							
		園庭整備工事				旧校舎解体		
							グラウンド整備工事	

10日臨時議会 第二期工事の契約議決の変更

新たに問題になっているのは、建設予定地が軟弱地盤であったこと。4月に工事着工したものの、軟弱な地盤であることが明らかになり、設計変更を余儀なくされました。6月議会には、当初の契約金額8億7832万5000円から9億591万9

000円に契約議決を変更することが追加提案されました。また、第2期工事については、10日に開かれる臨時議会で、提案されます。子どもの安全や建物の耐久性から考えれば、工事着工後に明らかになった軟弱地盤を補強することは

当然のことですが、ほぼ1ヶ月、工事がストップしたため、当初の工事計画（左表参照）に遅れが生じることが心配されています。計画段階から、狭い敷地になぜ幼稚園と小学校を一緒に施設として建設するの？、「建設予定地の（あまが池はもとも

と地盤の弱い土地だった」など、さまざまな意見が出される中で、工事であり、その影響が出てくることは事実です。日本共産党の小牧議員は、これまで「工事期間の2年間、児童の体育や休み時間の運動スペースの確保や安全管理について、

最大の配慮をすべき」と求めてきました。これに対して、市は、安全管理要員の設置や防球ネット等の設置など、一定の改善が見られます。今後は工事が無事に終了するための細心の努力と、2学期からの教育活動の中で、児童が安全に学校生活を過ごせるよう、さらなる配慮が求められます。



近江妙蓮

今年も厳かに美しく

1日、近江妙蓮観蓮会に参加しました。600年以上前から川田町田中の大日堂で、地元や保存会のみなさんによって守り育てられてきた「近江妙蓮」。ひとつの茎に2個から最高12個花をつけ、花びらは3000枚から5000枚。おしべ、めしべが全て花びらになるため、種ができません。ですから根を枯らしてしまえば、絶滅してしまうとのこと。日本でも数少なく、県の天然記念物、そして守山市の市花です。保存会の皆様のご苦労に感謝しながら、今年もその厳かな美しさに神妙な思いで、拝見させていただきました。今、見ごろです。皆さんも訪れてみては。小牧一美

日本共産党
守山民報

守山市議会議員
こまき一美
TEL・FAX 582-3785
<http://komaki.jcp-web.net/>

党守山市くらし対策責任者
まつば栄太郎
TEL 584-3077
FAX 584-3466